

平成 26 年 1 月 9 日
アンジェス MG 株式会社

新しい抗がん効果を有する VEGF-DNA ワクチンの開発に成功 — 阪大グループが英国科学雑誌 Nature 関連誌に成果を発表 —

大阪大学の森下竜一教授、中神啓徳教授らの研究グループは、新しい抗がん効果を持つ VEGF-DNA ワクチンの開発に成功し、モデル動物を使った実験で高い有用性を実証しました。この成果がこのほど、英科学誌 Nature の運営するオンラインジャーナルである Scientific Reports に掲載されましたのでご報告いたします。

多くのがん細胞は体内で新たな血管を作りながら（血管新生）増殖し、転移を繰り返して悪化しますが、その血管新生に関わるのが血管内皮細胞増殖因子(VEGF)です。その機能を止めることが大腸がんをはじめとする種々のがんに対して有効であることが分かっており、既に VEGF をターゲットとする抗体医薬品が製品化されています。ただし、抗体医薬品は高価である上、頻繁な投与が必要であることが課題として指摘されています。

今回の阪大の研究では、VEGF に対する抗体を産生する VEGF-DNA ワクチンを開発しマウス癌モデルに投与したところ、この抗体が VEGF 活性を中和することで腫瘍の増大を有意に抑え、かつ生存期間を延長させることを見出しました。DNA ワクチンには一般に、抗体医薬よりも安価で効果が長持ちする長所があります。今回の研究成果により、VEGF をターゲットとした既存の抗体医薬品に比べ、安価でより投与回数の少ない画期的な医薬品の開発が実現する可能性が出てきました。

この論文は下記 URL に掲載されています。

<http://www.nature.com/srep/2013/131129/srep03380/full/srep03380.html>

現在発売されている抗体医薬品は世界で数千億円規模の市場を形成しており、今後この市場はさらに大型化するものと期待されています。

当社は、当該 DNA ワクチンに関する特許を大阪大学と共同で出願しており、今後、森下教授の研究グループと連携し、実用化を目指して参ります。

以上

お問い合わせ先

アンジェス MG株式会社 経営企画部 広報グループ

TEL: 03-5730-2641